

RYUSHI vol. 6 「古代オリエント④古代オリエントの統一」

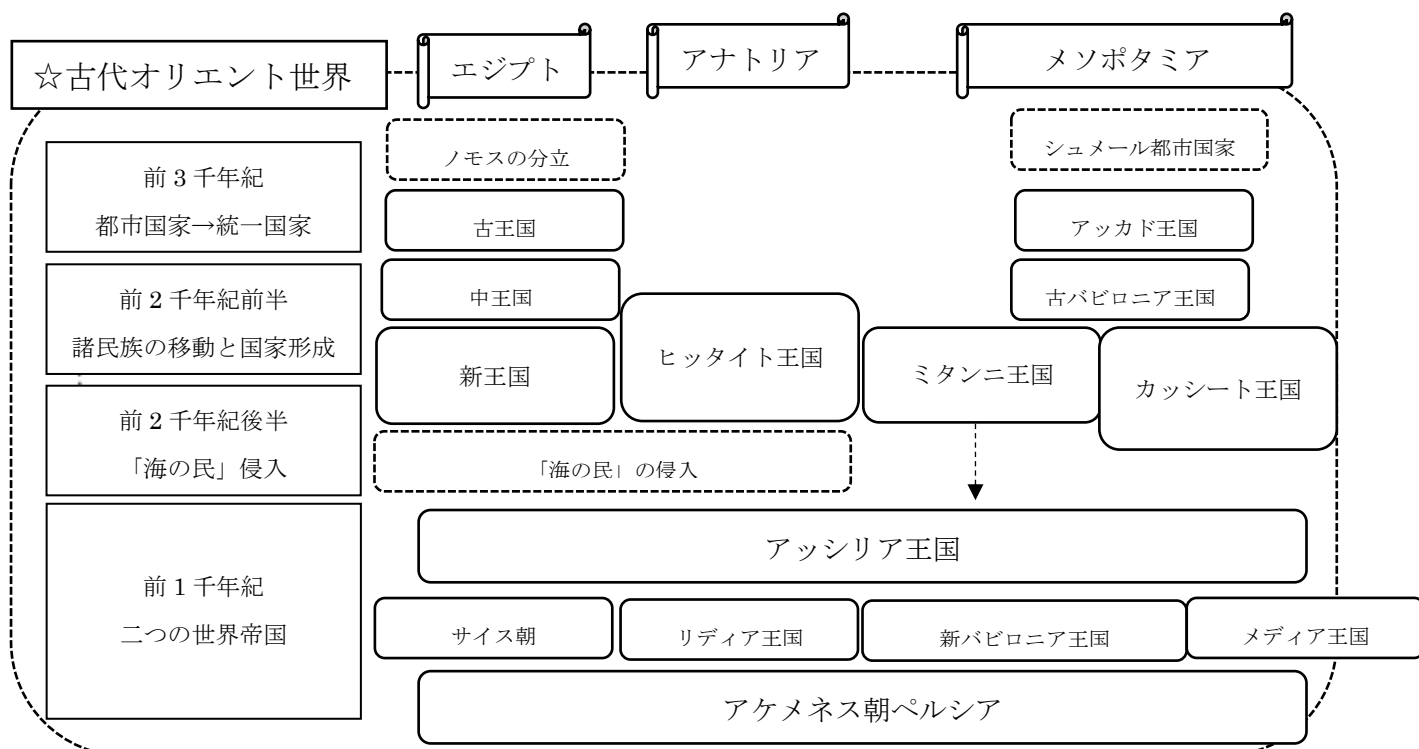
Cf.) 読本 pp. 23-24

タペストリーpp.60

1. 古代オリエントの統一

- ①(1) **アッシリア** 王国[Assyria] : 都(2) **ニネヴェ** (前 8c 末～) ; セム語系アッシリア人の国家
- ・ 中心都市(3) **アッシュル** : (4) **北メソポタミア**
 - ・ 古アッシリア時代の隆盛 (前 19c 末) →(6) **ミタンニ王国**の支配 (前 15c) →独立
 - ・ メソポタミア支配 (前 8c 後半～) : (7) **鉄製武器**、(8) **騎兵隊**、**戦車隊**が支える軍事国家へ
▲(9) **サルゴン 2 世** : (10) **イスラエル王国**を滅ぼす
Cf.) センナケリブ (サルゴン 2 世の子) : 首都ニネヴェ設置
▲エサルハドン王 : 初めて全オリエント統一 ((11) **前 671** ; エジプト遠征)
▲(12) **アッシュルバニパル王** : ニネヴェに(13) **図書館**設置
 - ・ (14) **「世界帝国」** : 専制君主と中央集権体制によりオリエント世界の諸民族を支配
▲(15) **属州** : (16) **総督**を派遣して支配 ; 重税と圧政
▲強制捕囚政策 : 反乱の芽を摘みつつ人材を確保
→アッシュルバニパル王の死後、急速に崩壊
……新バビロニア、メディア連合軍によりニネヴェ征服=滅亡 ((17) **前 612**)
- ②4 国分立 (前 7c 末～前 6c 後半)
- 1 (18) **エジプト** : 末期王朝期・第 26 王朝 (～前 525) ; 都サイス
- 2 (19) **リディア**[Lydia] : (20) **アナトリア**[小アジア]支配 ; 都(21) **サルデス**
- ・ エレクトラム : (22) **世界最古の金属貨幣** ; 金、銀の含有量と発行者を示す記号を刻印
- 3 (23) **メディア**[Media] : (24) **イラン高原**支配 ; 都(25) **エクバタナ**
- ・ 印欧系メディア人の国家
- 4 (26) **新バビロニア**[Neo-Babylonia] : 都(27) **バビロン**
- ・ セム語系(28) **カルデア人**の国家
 - ・ (29) **ネブカドネザル 2 世** : (30) **バビロン捕囚** (前 586-前 538) →ユダ王国滅ぼす
- ③(31) **アケメネス朝ペルシア** : 都(32) **スサ** (行政府) / (33) **ペルセポリス** (王宮)
- ・ 印欧系(34) **ペルシア人**の国家
 - ・ (35) **キュロス 2 世** : アケメネス朝建国
メディア (前 550)、リディア (前 547)、新バビロニア (前 539) を征服
Cf.) バビロン捕囚終了 (～前 538) : バビロンのユダヤ人を解放
 - ・ (36) **カンビュセス 2 世** : エジプト併合 (前 525) =全オリエント統一

- ・(37) **ダレイオス1世**：「(38) **諸王の王**」(「世界帝国」：エーゲ海北岸～インダス川まで支配)
 - ▲(39) **州**：行政区かつ徴税区；軍事、徴税を担当する知事[(40) **サトラップ**]を派遣
 - (41) **「王の目」** (42) **「王の耳」** (国王直属の監察官) に監視させる
 - Cf.) 徴税制度の整備：各民族の物納→徴税区ごとに設定した金納 or 銀納
 - ▲(43) **「王の道」** (スサ～サルデスなど)：スサを中心とした(44) **駅伝制**
 - ▲フェニキア人、アラム人の交易を保護
 - Cf.) フェニキア人：アケメネス朝海軍の中核／アラム語：アケメネス朝の公用語
 - 安定した中央集権体制を確立；被征服民族に対する寛容な政策 (宗教、慣習、一定の自治)
 - ▲(45) **ペルシア戦争** (前500～前449)：アテネによるイオニア植民市の反乱支援から開始
 - △ダレイオス1世、クセルクセス1世 (ダレイオスの子)：共に敗れる
 - ……宮廷の内紛、サトラップの反乱等により衰退
- ・(46) **ダレイオス3世**：アレクサンドロスの東方遠征で(47) **滅亡** ((48) **前330**)
- ・(49) **ゾロアスター教**[拝火教]：火を神聖視；アケメネス朝で保護／中国にも伝来 (=祆教)
 - ▲創始者：(50) **ゾロアスター** (活動時期は不明)
 - ▲(51) **善悪二元論**：世界を善の神悪二神の不断の戦いと考える
 - △(52) **アフラ＝マズダ**[Ahura Mazdā]：善の神、光明神
 - △(53) **アーリマン**[Ahriman]：悪の神、暗黒神
 - (54) **「最後の審判」**：善の神が勝利し、善人を救済 (二元論的終末論)
 - ……ユダヤ教、キリスト教、イスラームへ継承
 - Cf.) 教典『アヴェスター』：後のササン朝期に成立
- ・ペルシア文字：楔形文字を表音文字化
 - ▲楔形文字の解読 (19c)
 - △(55) **ペルセポリス碑文**：(56) **グローテフェント** (独)
 - △(57) **ベヒストゥーン碑文**：(58) **ローリンソン** (英)
 - ……「西アジアのロゼッタストーン」；ダレイオス1世の戦勝記念碑



RYUSHI vol. 6 「古代オリエント④古代オリエントの統一」

Cf.) 読本 pp. 23-24

タペストリーpp.60

1. 古代オリエントの統一

- ①(1) _____ 王国[Assyria] : 都(2) **ニネヴェ** (前 8c 末～) ; セム語系アッシリア人の国家
- ・ 中心都市(3) **アッシュル** : (4) _____
 - ・ 古アッシリア時代の隆盛 (前 19c 末) →(6) _____ の支配 (前 15c) →独立
 - ・ メソポタミア支配 (前 8c 後半～) : (7) _____、(8) **騎兵隊、戦車隊**が支える軍事国家へ
 - ▲(9) **サルゴン 2 世** : (10) **イスラエル王国**を滅ぼす
- Cf.) センナケリブ (サルゴン 2 世の子) : 首都ニネヴェ設置
- ▲エサルハドン王 : 初めて全オリエント統一 ((11) **前 671** ; エジプト遠征)
- ▲(12) **アッシュルバニパル王** : ニネヴェに(13) **図書館**設置
- ・ (14) **「世界帝国」** : 専制君主と中央集権体制によりオリエント世界の諸民族を支配
 - ▲(15) **属州** : (16) _____を派遣して支配 ; 重税と圧政
 - ▲強制捕囚政策 : 反乱の芽を摘みつつ人材を確保
 - アッシュルバニパル王の死後、急速に崩壊
 - ……新バビロニア、メディア連合軍によりニネヴェ征服=滅亡 ((17)**前** _____)

②4 国分立 (前 7c 末～前 6c 後半)

- [1] (18) _____ : 末期王朝期・第 26 王朝 (～前 525) ; 都サイス
- [2] (19) _____ [Lydia] : (20) **アナトリア** [_____] 支配 ; 都(21) **サルデス**
- ・ エレクトラム : (22) **世界最古の金属貨幣** ; 金、銀の含有量と発行者を示す記号を刻印
- [3] (23) _____ [Media] : (24) _____ 支配 ; 都(25) **エクバタナ**
- ・ 印欧系メディア人の国家
- [4] (26) _____ [Neo-Babylonia] : 都(27) **バビロン**
- ・ セム語系(28) **カルデア人**の国家
 - ・ (29) **ネブカドネザル 2 世** : (30) **バビロン捕囚** (前 586-前 538) →ユダ王国滅ぼす

③(31) _____ : 都(32) **スサ** (行政府) / (33) **ペルセポリス** (王宮)

- ・ 印欧系(34) **ペルシア人**の国家
- ・ (35) _____ : アケメネス朝建国
- メディア (前 550)、リディア (前 547)、新バビロニア (前 539) を征服
- Cf.) バビロン捕囚終了 (～前 538) : バビロンのユダヤ人を解放
- ・ (36) **カンビュセス 2 世** : エジプト併合 (前 525) = 全オリエント統一

- ・(37) _____ : 「(38) _____」 (「世界帝国」: エーゲ海北岸～インダス川まで支配)
 - ▲(39) _____ : 行政区かつ徴税区; 軍事、徴税を担当する知事[(40) _____]を派遣
 - (41) _____(42) _____ (国王直属の監察官) に監視させる
 - Cf.) 徴税制度の整備: 各民族の物納→徴税区ごとに設定した金納 or 銀納
 - ▲(43) _____ (スサ～サルデスなど): スサを中心とした(44) _____
 - ▲フェニキア人、アラム人の交易を保護
 - Cf.) フェニキア人: アケメネス朝海軍の中核/アラム語: アケメネス朝の公用語
 - 安定した中央集権体制を確立; 被征服民族に対する寛容な政策 (宗教、慣習、一定の自治)
 - ▲(45) _____ (前500～前449): アテネによるイオニア植民市の反乱支援から開始
 - △ダレイオス1世、クセルクセス1世 (ダレイオスの子): 共に敗れる
 - ……宮廷の内紛、サトラップの反乱等により衰退
- ・(46) **ダレイオス3世**: アレクサンドロスの東方遠征で(47) **滅亡** ((48) _____)
- ・(49) **ゾロアスター教**[拝火教]: 火を神聖視; アケメネス朝で保護/中国にも伝来 (=祆教)
 - ▲創始者: (50) **ゾロアスター** (活動時期は不明)
 - ▲(51) **善悪二元論**: 世界を善の神悪二神の不断の戦いと考える
 - △(52) _____ [Ahura Mazdā]: 善の神、光明神
 - △(53) _____ [Ahriman]: 悪の神、暗黒神
 - (54) **「最後の審判」**: 善の神が勝利し、善人を救済 (二元論的終末論)
 - ……ユダヤ教、キリスト教、イスラームへ継承
 - Cf.) 教典『アヴェスター』: 後のササン朝期に成立
- ・ペルシア文字: 楔形文字を表音文字化
 - ▲楔形文字の解読 (19c)
 - △(55) **ペルセポリス碑文**: (56) **グローテフェント** (独)
 - △(57) **ベヒストゥーン碑文**: (58) **ローリンソン** (英)
 - ……「西アジアのロゼッタストーン」; ダレイオス1世の戦勝記念碑

